

目標達成計画

作成日: 令和 4年 3月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
	1 35(17)	○災害対策 災害時は併設の老健の応援体制があるが、更なる速やかな対応が必要ではないか。認知症の利用者様であることから、見守り人数に不足が考えられる	地域との協力体制がとれるよう築く	グループホームの周辺の地域の方に消防訓練と一緒に参加出来るよう声掛けする。	6ヶ月
	2 35(17)	○災害対策 災害時のための備蓄の確保	老健の備蓄だけに頼らず、当事業所として備蓄対応する	災害時のリスクをシミュレーションし、どのような状況でも対応できる体制を強化するとともに、備蓄への準備をする。	3ヶ月
	3 4(3)	細かい部分へのヒヤリハット作成・報告忘れ	細かい部分までのヒヤリハット作成・報告ができ、事故を防ぐためにヒヤリハットの活用する	各月事故数、ヒヤリハットの数をグラフにし見える化推進(フロア・玄関への)による事故数減への更なる活動	12ヶ月
	4				ヶ月
	5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。